

獣医師の就業環境の未来を考える

—すべての獣医師が働きやすい職場づくりに向けた取組（Ⅲ）—

宮崎県獣医師会女性獣医師委員会の活動について

奥山真智子[†]（宮崎県獣医師会 女性獣医師委員会委員長）



1 はじめに

今回は、宮崎県獣医師会女性獣医師委員会の活動について紹介したい。本委員会は、令和3年に立ち上げられた新しい委員会である。メンバーは、奥山真智子（宮崎県庁OB）、上松瑞穂（NOSAI宮崎）、上村涼子（宮崎大学）、清水

恵梨香（宮崎県・福祉保健部）、重永あゆみ（宮崎県・農政水産部）の5名で構成され、県獣医師会から矢野安正（会長）、後藤美文（理事）がオブザーバーとして出席する。

初回委員会では、本委員会がこれからどんなことに取り組んでいくか、その目的と活動内容を探るために、宮崎県獣医師会の男女別・年代別の加入率や、全国の職域別女性獣医師数などの統計データ、女性獣医師に関する他の地方獣医師会の活動状況などの情報を収集し、検討することから開始した。

2 現状分析と取り組む課題

宮崎県内の獣医師数（獣医師法第22条届け出数）と宮崎県獣医師会会員数の統計データから、宮崎県獣医師会加入率は全国平均（61.9%）に比べて高いものの、女性の加入率（76.2%）が男性（91.6%）に比べて低いことがわかった。加えて、現在50歳以下の獣医師数が全体の半数以下（46.7%）であり、10年後に現在と同程度の獣医療を提供するためには、61歳以上の獣医師の活躍が不可欠だということを、大きな課題として再認識した。そこで、女性獣医師委員会の活動主旨を、老若男女職域を超えて相互に理解し、よりよい宮崎県の獣医療を発展させるための活動として、「獣医師の働きやすさに関する情報の収集と発信」と「情報発信の対象を非会員に広げるための取組」に着手した。

3 女性獣医師委員会の活動紹介

本委員会発足後、宮崎県獣医師会が年2回発行する『宮崎県獣医師会だより』のなかで、宮崎県内の獣医師数などのデータ掲載、「令和3年度女性獣医師活躍推進のための（地方獣医師会の）取組状況」（日本獣医師会まとめ）の紹介など、会員向けに情報の発信に努めている。

また令和4年8～9月には、県内の獣医師不足の課題に対して宮崎県獣医師会でできることを探るために県内在住の獣医師を対象にアンケート調査を実施した。スマートフォンからQRコードを読み取って手軽に回答できるよう工夫し、また県獣医師会会員を通して県獣医師会未加入者へも案内した。

アンケート調査には、247名（うち獣医療従事者240名、非従事者7名）から回答があり、結果の概要を『宮崎県獣医師会だより第96号』（令和5年1月発行）に掲載した。ここでは、その掲載記事を抜粋、転記して紹介する。

立ち上がって間もない本委員会の行う初めてのアンケート調査に対して、多くの回答が寄せられ、何より自由記述欄に意見を記入された方が多かったことが、これからの獣医師会や獣医師の働く環境にある課題の大きさや、そのことについて真剣に考えている方が多いことの表れであると思われた。一方で、開業獣医師と県獣医師会未加入者からの回答が少なかったことは残念であり、意見をどのように吸い上げていくかが今後の課題である。

4 さ い ご に

私達は「獣医師の働きやすさに関する情報の収集と発信」「情報発信の対象を非会員に広げるための取組を」を行うことで、宮崎県の獣医師を取り巻く環境がサステナブルに維持または発展することを目指している。本委員会で取りまとめた意見のいくつかは、理事会へ上申しており、理事会からは本委員会活動への理解をいただいている。今後は、獣医師の人材不足という喫緊の課題に対

[†] 連絡責任者：奥山真智子（宮崎県獣医師会）

〒880-0806 宮崎市広島1-13-10 畜産会館3F

☎ 0985-24-7532 FAX 0985-24-5995

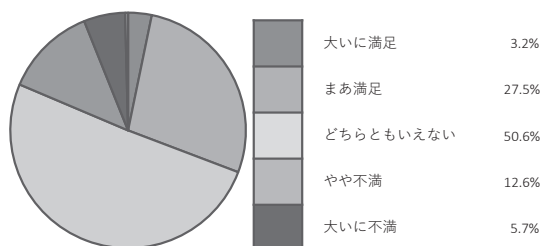
E-mail : ikurago@aqua.ocn.ne.jp

して、獣医師の多様な働き方など具体的な提案をしていきたい。

第1回会議でメンバーがつぶやいた「せっかくやるなら、未来志向型がいいよね」を合言葉に委員会活動は続く。

回答者の属性							
獣医事への従事	している	していない			県獣への加入	会員	未加入
	97.2%	2.8%				96.8%	3.2%
年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	回答しない
	10.1%	28.3%	26.3%	24.3%	8.1%	1.6%	1.2%
性別	男性	女性	回答しない				
	64.0%	34.4%	1.6%				
職業職域	公務（農）	公務（厚）	小動物臨床	大学	大動物臨床	その他	獣医事以外
	23.5%	29.1%	4.0%	4.5%	35.6%	0.4%	2.8%

宮崎県獣の活動の満足度

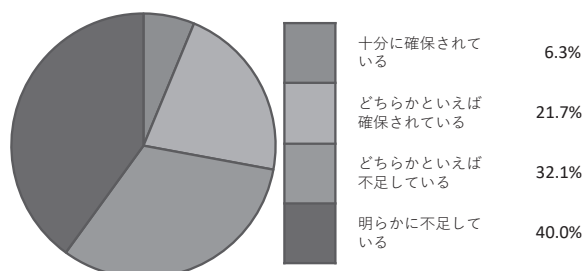


- * 大いに満足・まあ満足と回答された方のご意見**
防疫や感染症対策など率先して取り組んでいる・多岐にわたる活動を行っている・現状問題がない
- * どちらともいえないと回答した方のご意見**
活動内容と会費のバランスがとれているか分りにくい・県獣の活動で職場環境や待遇に改善が見られた実感がない・一部の会員しか活動に参加していない・活動の認知度が低い・代り映えがしない
- * 大いに不満・やや不満と回答された方のご意見**
会費が高い・活動が前例踏襲で漫然としていて時代に合わせて変わっている感が薄い・メリットが少ない・経費削減の工夫が足りない・獣医師の地位向上のための取り組み及び成果が全く見えてこない

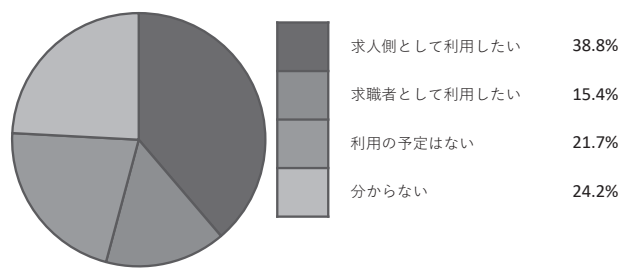
宮崎県獣が実施できていない「女性獣医師活躍推進のための取り組み」の必要度

	男女ともに必要	女性に必要	男性に必要	男女ともに必要ない
未就業の獣医師の把握	85.0%	1.2%	0.0%	13.8%
会員加入促進の取り組み	70.9%	1.2%	0.0%	27.9%
獣医師人材バンク等の設置	89.5%	0.8%	0.0%	9.7%
復職支援研修等の開催	89.1%	2.4%	0.0%	8.5%
相談窓口の設置	94.7%	0.8%	0.0%	4.5%

職場の獣医師数の確保状況

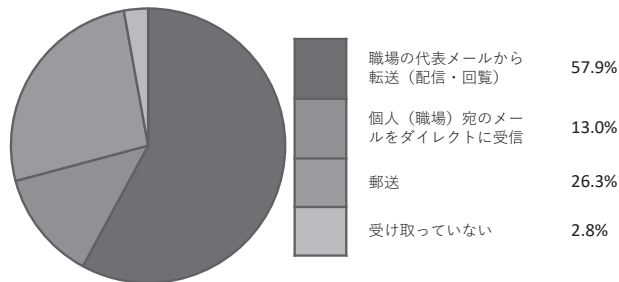


宮崎県獣が人材バンクを設置した場合の利用

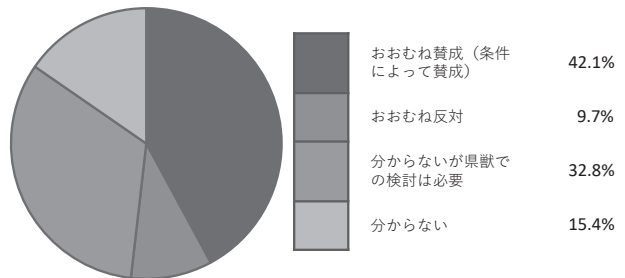


宮崎県獣からのお知らせ配信

* 宮崎県獣からのお知らせ受信方法



* 宮崎県獣からのお知らせ配信を「会員以外に拡大」することについて



* お知らせ受信方法の満足度

満足：83.4% 不満：16.2%

不満と回答した方の改善案(回答者数)
 メールリスト(29)、LINE等のスマホアプリ(22)、web掲示板(17)、その他(郵送費削減 2)

* おおむね賛成と回答された方のご意見

会員と非会員で情報の中身の違いはあるべき・未就業の獣医師が就業するきっかけとなるようなお知らせの配信は賛成・紙ではなくメールでなら資源の無駄にならずにすむのでよいのでは

* おおむね反対と回答した方のご意見

会費を納めている以上、会員に限定するべき・会員にならなくても良いと判断されるのでは・誰でも情報が受け取れるなら会員になるメリットはさらに下がる

* 検討は必要と回答された方のご意見

拡大することの理由やメリットなど、まずは会員宛に十分に周知するのが先だと考えます・会費納入者の利益に反することがない範囲で、公益性の観点から配信について検討してもらいたい・電子媒体であれば賛成、紙媒体(郵送)の場合予算面が心配

宮崎県獣の活動への提案

- 獣医師の把握と人材に関する情報の共有（産休代替などの人材の紹介、短期間勤務可能な仕事の紹介）
- 人材バンクの設置
- 労働環境向上の取り組み
- 獣医師の処遇改善への働きかけ
- 夜間の救急医療体制（小動物夜間診療の当番制）実現に向けた取り組み
- 行政、民間（団体）、個人開業等との連携強化のための会議等の設置
- 奨学金や給与手当などの経済的支援事業
- スキルアップ研修の開催・補助等
- 積極的なHPの更新
- 機関誌発送経費の削減（希望者限定で発送、web掲載）
- 県獣医師会の機構そのものの変革